

KONOMA
木の間通信

開館30周年記念

親子で楽しむ 萬鉄五郎 展

2014年7月5日(土)～8月31日(日)

●会場：萬鉄五郎記念美術館



萬鉄五郎《女学生》1912年頃 水彩・鉛筆・墨・紙



萬鉄五郎《丘のみち》1918年 油彩・画布

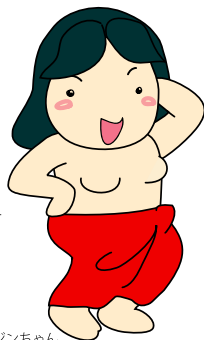
萬鉄五郎は、代表作『裸体美人』が重要文化財に指定されるなど、日本近代美術を代表する画家ですが、その特異な表現性のため一般の人にとっては、萬の作品は「むずかしい」「よくわからない」と、しばしば敬遠されてしまいがちです。でも、絵画って「よくわかる」ものでしょうか？写真のような絵が「きれいな絵」なのでしょうか？

今回の展示では、ゆるキャラがそんな萬作品について解説します。親子で会話を楽しみながら鑑賞できるような、そんな機会を提供します。お子様だけでなく大人の方にとっても新たな発見があるかもしれません。

●休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日) ●開館時間：8:30～17:00(入館は16:30まで)

●入館料：一般400(350)円、高校・大学生250(200)円、小・中学生150(100)円

* ()内20名以上の団体料金 * 花巻市内小・中学生、花巻市内在住か市内の高校に在学する生徒、富士大学学生は土・日・祝日と長期休暇期間の入館料が無料となります。



ビジンちゃん

ギャラリーコンサート ヴァイオリンと歌のコンサート

2014年8月23日(土)

●会場：萬鉄五郎記念美術館

- 時間：8月23日(土) 16:00～17:30(会場15:40)
 - 場所：萬鉄五郎記念美術館展示室
 - 出演：絵美夏(ヴァイオリンシンガー) 《入場無料》
- 映画音楽や童謡など楽しいコンサートです。



街かど美術館 アート@つちざわ(土澤) ワークショップ

地元の粘土で小鬼をつくろう!

2014年7月26日(土)

●場所：賑わいステーション土澤(旧おいとも)

自分が鬼になったらどんなかんじかな?
想像力をふくらませて、自分の分身を作りましょう!

- 講師：やきもの工房K O I I K A (コシカ) 佐藤真智香さん
- 日時：7月26日(土) 13:30～16:00ころ
- 定員：先着20名



(小学生～大人。ただし小学4年生以下の児童は保護者同伴で参加してください)

- 申込み〆切：7月12日 ●参加料：無料
 - 持ち物：汚れていいタオルや手ぬぐい1枚、古新聞紙5日分、汚れてもいい服装
- ※ワークショップで作った作品は、街かど美術館(10月11日～11月9日)の会場で展示します。
※天然粘土を使用するため焼き上がりで欠けたり、割れが発生することもあります。

- 問合せ・申込み先：街かど美術館実行委員会事務局

岩手県花巻市東和町土沢8-95「賑わいステーション」内 電話・FAX／0198-29-5959

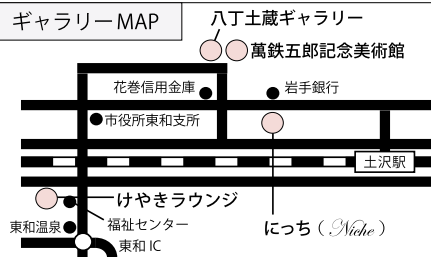
萬鉄五郎記念美術館 館長講座—絵画の見方とその歴史—Ⅲ

- 日時：第2回 7月19日(土) 印象派の代表《モネ》 13:30～15:00
第3回 8月30日(土) 女性美を謳いあげた《ルノワール》 13:30～15:00
- 場所：花巻市役所東和総合支所1階第1会議室 ●受講無料
- 講師：萬鉄五郎記念美術館館長 中村光紀
- 問合せ・申込み先：萬鉄五郎記念美術館 電話0198-42-4402

美術の街「土沢」 ギャラリー情報

萬鉄五郎記念美術館とあわせて、「美術の街」土沢めぐりをしてみませんか。

ギャラリーMAP



萬鉄五郎記念美術館

八丁土蔵 ギャラリー

花巻市東和町土沢 5-135
萬鉄五郎記念美術館内
9:00-16:30 月曜休(祝日は
翌日) 入場無料

iwate コンテンポラリーアート

杉本みゆき 展

—真夏の夜の夢—

7月5日(土)～9月28日(日)

盛岡在住の画家の詩情あふれる世界



Gallery Space けやきラウンジ

花巻市東和町安俵6-90 東和図書館内 tel.0198-42-3205
10:30～19:00 (最終日は16:00まで) 入場無料

阿部優子 展 音楽と絵画展 vol.2

7月1日(火)～7月31日(木)

けやき女流シリーズ開幕《教員・ママ・画家》三役マルチに活躍



村井暁子 展

8月1日(金)
～8月31日(日)

花巻で子育て兼作家活動。画面の変動に期待感



にっち Niche

花巻市東和町土沢8-115
こっぼら土澤1階
11:00～17:00
火曜定休 入場無料

おおわくあきら 展

7月16日(水)
～7月28日(月)

里山のかわいい野鳥の写真
と木工・家具作品展



喫茶「八丁土蔵」

萬鉄五郎の自家「八丁」にあった土蔵を移築復元した、ギャラリーと喫茶スペースです。自慢のオリジナルコーヒー「蔵」「八丁」を、ぜひ一度ご賞味ください。 営業時間：10:00～16:00(10:15:30)



パラソル

萬鉄五郎の水彩画『女学生』（1912年頃）は、日傘をさした女学生らが連れ立って歩いているところを、すばやいたッチで描いた作品。三人連れの女学生、そばの通行人も日傘を持って軽快な動きがある。日傘をさす女学生のモダンなファッション性に萬は惹かれ、新しい女性像の象徴として描いたと思われる。日傘をさした女学生のスケッチが多く残されている。また、萬は当時貴重品だったカメラを持っており、小石川のアトリエの二階から前を通る日傘をさした女学生の一群を撮影している。その写真は女学生が歩いているためブレているが4枚現存している。

パラソルはラテン語PALLA（よける）+ SOL（太陽）から来ている言葉で、日本では文明開化の熱にのって明治中期から旧来の和傘に代わって女性の間に流行しはじめた。

印象派の画家では、特にモネが日傘の作品を多く描いている。1886年に、人物が右向き『日傘をさす女性』と左向きの『日傘をさす女性』を2点向かい合うように描がいている。モネは風景描写に力点をおいていたので、人物画はそれほど多くない。これらの女性は緑色のパラソルを持ち草むらの上に仰ぎ見るように立ち、顔の目鼻たちが分からないくらい省略されているが違和感がない。むしろ風のそよぎや光のシャワーを感じさせる。モネが描きたかったのは人物より、人物を取り巻く自然のなかの光と風の動きの一瞬の印象であった。そのほか『海辺にてモネ婦人』など日傘をさした女性の作品が10点ほどある。

新印象主義スーラの名作『グランド・ジャット島の日曜の午後』では、中央のシルクハットの紳士と連れの日傘をさしている女性など日傘が多く描かれている。このころパラソルは軽量化、大量生産により大衆に大流行したことが分かる。そして、下世話なパリの縮図が描かれている。金持ちの紳士

と連れのヒップの大きいファッションの女性は、猿をベットにしている。二人の愛人関係を暗示している。猿は西欧では「悪徳」を象徴する。「万物は神の創造」とする西欧の宗教的考えでは、人間の先祖が猿から分かれたとするダーウインの進化論は受け容れられないのである。キリスト教右派の強いアメリカ南部では、いまでも進化論がタブーであることにも驚く。

萬鉄五郎記念美術館長 中村光紀



左/クロード・モネ《右向きの日傘の女性》

1886年 油彩・画布 オルセー美術館所蔵

右/ジョルジュ・スーラ《グランド・ジャット島の日曜日の午後》

1884-1886年 油彩・画布 シカゴ美術研究所蔵

萬鉄五郎記念美術館 岩手県花巻市東和町土沢 5-135 Tel.0198-42-4402 8:30am. ~ 5:00pm.

yorozu00@cocoa.ocn.ne.jp <http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/503/p004177.html> 月曜休館（祝日の場合その翌日）

発行人／東和町土沢商店街商店会連絡会会長小原茂明